知的資産活用セミナー

~ 中小・ベンチャー企業のさらなる知的資産活用に向けて ~

知的資産経営報告書 「株式会社キャスト」様の事例

2007年9月6日(木)

はやしコンサルティング 代表

林 浩史(中小企業診断士)

Agenda

- 1. はじめに ~ 支援先企業の概要 ~
- 2. なぜ知的資産経営に取り組んだのか
- 3. 知的資産経営報告書作成によって得られた気づき
- 4. 知的資産経営報告書による効果
- 5. 知的資産経営による効果
- 6. まとめ

(1)会社概要

社名: 株式会社キャスト

代表取締役: 酒井 英行

創立: 明治22年3月

本社: 東京都江東区千石3-1-14

白河工場:福島県白河市東上野出島字笹久保2

白河工場敷地: 工場総面積42,846㎡、工場建物3,960㎡

事務厚生棟337㎡、試験室64㎡

資本金: 3,500万円

従業員: 70名(うち常用28名)

事業内容: 普通鋳鉄(FC)、球状黒鉛鋳鉄(FCD)、特殊鋳鉄、

耐剛性鋳鉄BD900の製造販売及び加工、 アルミ、銅合金、特殊鋼の販売及び加工

(2)事業内容

① 表面実装機用フレーム



材質:FC200 重量:800kg

生産量:100~150台/月





(完成品)

② ロボット用本体



材質:FCD450

重量:230kg

生産量:100~200台/月





(完成品)

4 ©2007 はやしコンサルティング

(3)07年版元気なモノ作り中小企業・300社

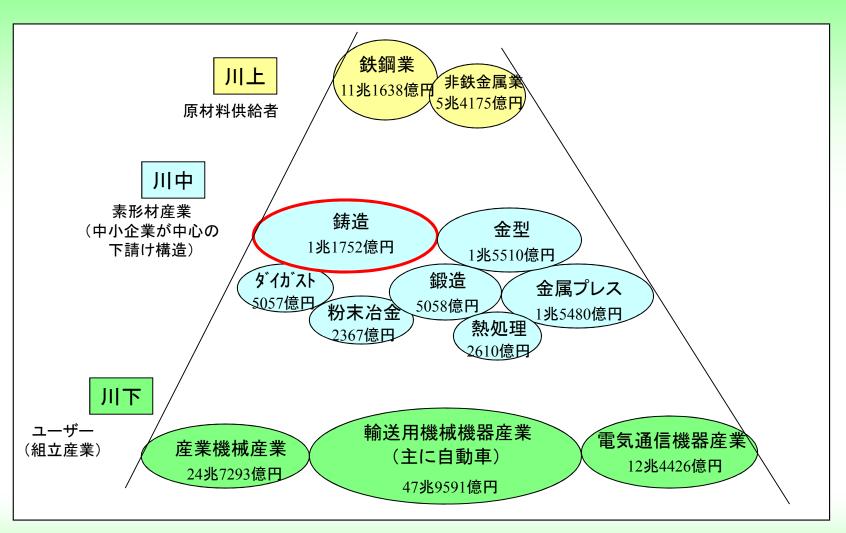
(http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/index.html)



<u>更なる発展のための</u> 知的資産経営などを実施

経済産業省から公表された「知的 資産経営のガイドライン」に基づき、 今後、安定継続してユーザーニー ズに応え、開発、設計の段階から 提案ができる企業となるため、自 社の持つ技術や技能などの 独自能力を分析・抽出した 「知的資産経営報告書」を作成。 積極的な事業展開が図られている。

(4)素形材産業の構造



平成16年度工業統計より作成

自己紹介



株式会社バリューシンク

代表取締役 林 浩史

〒530-0012 大阪市北区芝田1-4-17-318

TEL:06-6375-1751 FAX:020-4663-2755

携帯電話:090-8655-4859

E-mail: hayashi@valuethink.co.jp

URL: http://www.valuethink.co.jp

- ▶ 林 浩史(はやし ひろし) 株式会社バリューシンク 代表取締役 100年企業創り合同会社 共同経営者
- ▶資格 中小企業診断士、(財)生涯学習開発財団認定コーチ
- ▶ 経営コンサルティング知的資産経営、事業再生支援(事業DD)、創業支援
- → 人財能力活性化支援 ビジネスコーチング、役割行動特性分析(DiSC) 業務改善研修、モチベーション研修
- > 京都大学工学部電気工学科卒業
- ▶ 職歴 西日本旅客鉄道株式会社 IT関連ベンチャー(物流バックヤードシステム) 湘南島津株式会社
- > 2005年、はやしコンサルティング創業
- > 2007年、100年企業創り合同会社設立
- ▶ 2009年、株式会社バリューシンク設立